

# 鉄筋のかぶり厚さ

## かぶり厚さ

### 設計かぶり厚さおよび最小かぶり厚さの規定

(JASS 5)

部位		設計かぶり厚さ (mm)		最小かぶり厚さ (mm)		建築基準法施行令 かぶり厚さの規定	
		仕上げあり <sup>(1)</sup>	仕上げなし <sup>(2)</sup>	仕上げあり <sup>(1)</sup>	仕上げなし <sup>(2)</sup>		
土に接しない 部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30以上	30以上	20以上	20以上	2cm以上
			屋外	40以上		30以上	
	柱 梁 耐力壁	屋内	40以上	50以上	30以上	40以上	
		屋外		50以上 <sup>(3)</sup>		40以上 <sup>(3)</sup>	
	擁壁		—	50以上 <sup>(3)</sup>	40以上 <sup>(3)</sup>	40以上 <sup>(3)</sup>	
土に接する 部分	柱・梁・床スラブ・壁・ 布基礎の立上り		—	50以上 <sup>(4)</sup>	40以上 <sup>(4)</sup>	40以上 <sup>(4)</sup>	4cm以上
	基礎・擁壁		70以上 <sup>(4)</sup>		60以上 <sup>(4)</sup>	60以上 <sup>(4)</sup>	6cm以上

(注) (1) 耐久性上有効な仕上げあり。

(2) 耐久性上有効な仕上げなし。

(3) 品質・施工法に応じ、工事管理者の承認で10mm減の値とすることができる。

(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増の値とする。

(配筋指針)

鉄筋に対するかぶり厚さとは、鉄筋表面とこれを覆うコンクリートの表面までの最短距離をいう。したがって、柱やはりでは軸方向筋の中心や表面から測るものでなく、下図に示すように帯筋やあばら筋の表面から測るものである。なお、基礎においては捨てコンクリートの厚さは参入しない。

